■アラブ首長国連邦：国内２基目の原子炉建設工事着工

連邦原子力公社（ENEC）は 2013 年 5 月 28 日、国内 2 基目となる原子炉の建設工事に着工し、2018 年の商業運転開始を目指していると発表した。この工事は、2009 年に韓国電力公社（KEPCO）を主体とする企業連合が UAE から受注し、発電所の 1 基目は 2012 年半ばに工事が着工されている。最終的には、4 基が建設される。UAE とサウジアラビアでは、急増するエネルギー需要に対して十分なガスが供給されていないことから、エネルギー多様化を図るものとして原子力に注目が集まっている。原子力発電所の建設工事を請け負う海外企業は、福島第一原子力発電所の事故の影響で大きな打撃を受けており、OPEC に加盟する湾岸諸国での原子力発電所建設工事の受注は業績を向上させるための重要なビジネスとなっている。